



2019年2月 MSCニュースレター

MSC(海洋管理協議会)日本事務所

目次



マーケット情報

- ・トップバリュ MSCエコラベル付き製品がテレビCMで放映 p.4
- ・日本マクドナルドがMSC認証取得に向け取り組みを開始 p.5

漁業情報

- ・アシュアランス(保証)強化のため、MSCが公開協議をスタート p. 7
- ・韓国のかめ漁業が認証審査入り p. 8
- ・豪・エクスマウス湾のエビ漁業が新しい魚種でも認証 p. 9
- ・新規審査入り漁業 カツオ・マグロ漁業 p.10
- ・新規審査入り漁業 新しい魚種で2漁業 p.11

その他

- ・海のエコラベルがオランダで「最も持続可能な食品ラベル」に p. 13
- ・スーパーマーケットトレードショー2019とコープみらいフェスタにブース出展 p. 14
- ・2019年度MSC学生研究奨学金の募集を開始 p.15
- ・MSC 認証取得状況 p.16

マーケット情報



トップバリュ MSCエコラベル付き製品がテレビCMで放映



2019年1月

1月17日～2月16日にかけて、イオンのブランド「トップバリュ おさかな惣菜」がMSCの「海のエコラベル」のついた商品として、テレビCMで全国放映されました。ナレーションでは海の環境に配慮した水産物が使われていることにも触れられています。

youtubeでの再生回数は1,300万回を超えており、イオングループ店内のおさかな惣菜商品の売り場近くでも放映されているので、是非ご覧ください。（※店舗により放映の有無、期間が異なります。）

イオングループは、2020年までにイオン(株)連結対象の総合スーパー、スーパーマーケット企業で販売する水産物の20%をMSC及びASCラベル付き製品にすることを目指し、水産物売場からデリカテッセン、グロッサリーへとラベル付き製品を拡大しています。

「イオントップバリュ おさかな惣菜」: <https://www.topvalu.net/tv-osakanasozai>

テレビCM動画: <https://www.youtube.com/watch?v=UKkch74DIEg&feature=youtu.be>



MSCエコラベル付き
「トップバリュ Fish Deli おさかな惣菜シリーズ」一例

日本マクドナルド(株) MSC認証取得に向け取り組みを開始



2019年2月26日

日本マクドナルド株式会社が、フィレオフィッシュで使用する魚についてMSC認証に向けた取り組みを進めると、ウェブサイトにて発表しました。

マクドナルド社は、マクドナルドの強みと規模(スケール)を活用して、社会的課題や環境問題に取り組むグローバルな枠組み“Scale for Good (スケールフォーグッド)”を策定しました。既に、お客様向け紙製容器包装類にはFSC認証紙、店舗用のフライオイルにはRSPO認証油を使用するなど、持続可能な調達を進めています。

水産物については、2011年に欧州マクドナルド、2013年には米マクドナルドが、合わせて20,000以上の店舗でMSCのCoC認証を取得し、現在は、欧州、米国、カナダ、ブラジルのマクドナルドで販売されるフィレオフィッシュにはMSCの「海のエコラベル」が表示され販売されています。



フィレオフィッシュ(日本マクドナルド(株)提供)

日本マクドナルド(株)のウェブサイト: http://www.mcdonalds.co.jp/company/scale_for_good/sourcing/

漁業情報



アシュアランス(保証)強化のため、MSCが公開協議をスタート



2019年2月4日

MSCでは、水産物の認証プログラムを維持していくため、要求事項とプロセスの見直しを定期的におこなっています。その一環として、2月4日に60日間の公開協議をスタートし、以下の3分野で、ステークホルダーからの意見を募集しています。

◆条件の達成に関する見直し

漁業認証規準における業績評価指標で、満たさない項目がある場合、MSCは漁業者に「条件」を設定し、5年以内の達成を求めています。この「条件」の付け方、評価方法、達成の検証方法の改善案を募集中です。

◆意見相違への対処

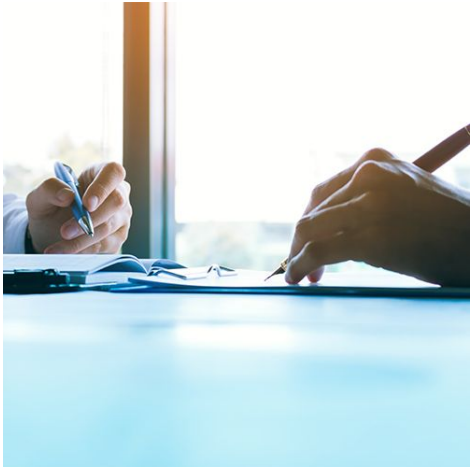
適合性審査機関やピアレビューア、ステークホルダーの間で、専門的な判断や科学的見解が異なった際の対処法について、意見を募っています。

◆前倒し監査

MSC漁業認証規準に則った審査の得点結果に重大な変更をもたらす恐れがある情報が見つかった場合、認証漁業の年次監査を予定よりも前倒しで実施しています。この「前倒し監査」のプロセスをより明確にするための案を募集しています。

公開協議は4月3日に終了し、協議の結果、MSCの要求事項を変更する場合は、2020年初頭に発表予定です。

詳しくはニュースリリースをご覧ください。 <https://goo.gl/vWPDc1>



韓国のおかめ漁業が認証審査入り



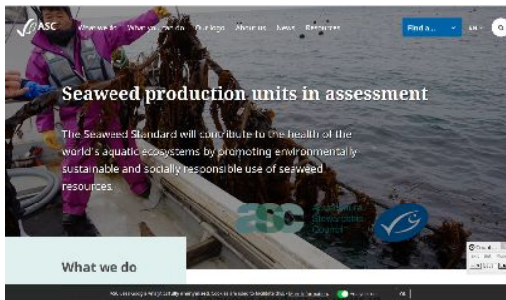
2019年2月12日

韓国のKIJANG MULSAN CO.,LTD – Kijang Sustainable Seaweed Networkのおかめ漁業が「ASC-MSC海藻(藻類)認証」の審査に入りました。審査のための現地訪問は3月18日～20日に予定されています。

「ASC-MSC海藻(藻類)認証」は、海藻(藻類)の持続可能で環境に配慮した栽培を認証するために、ASCとMSCが2018年3月に初の共同策定基準として定めた認証で、今年(2019年)1月に沖縄で微細藻類ユーグレナとヤエヤマクロレウが、初の認証を受けています。

現地訪問後は、レポートのドラフト公開、コメント募集、最終レポートの提出を経て、問題がなければ最終レポートを公開し、KIJANG MULSAN CO.,LTD に認証が授与される予定です。

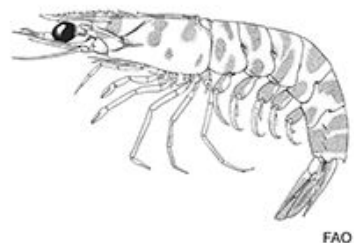
詳しくはウェブサイト(英語)をご覧ください。 <https://goo.gl/YrMCGg>



豪・エクスマウス湾のエビ漁業が新しい魚種でも認証



西オーストラリア州のエクスマウス湾のエビ漁業に、新しくエンデバープローン（英語名：Blue endeavor prawn、学名：(Metapenaeus endeavouri)）が認証に加わることになりました。



この漁業は2015年10月にフトミゾエビ（英語名：Western king prawns、学名：Penaeus latisulcatus）と、オーストラリアタイガーエビ（英語名：Brown tiger prawns、学名：Penaeus esculentus）の2魚種で認証を取得していました。このたび、独立審査機関のMRAG America社によって認証範囲の拡大のための審査が行われ、2月26日にエンデバープローンも認証に加わりました。

新規審査入り漁業 カツオ・マグロ漁業



- A: キリバス
B: インドネシア マルク諸島
C: パプアニューギニア

2月後半に以下の漁業がMSC漁業認証の本審査に入りました。

- キリバス延縄マグロ漁業(ビンナガマグロ、メバチマグロ、キハダマグロ) 2月22日本審査入り

<https://fisheries.msc.org/en/fisheries/kiribati-albacore-bigeye-and-yellowfin-tuna-longline-fishery/>

- インドネシア 北部ブル島&マルク諸島フェアトレード漁業協会キハダマグロ釣り漁業 2月26日本審査入り

<https://fisheries.msc.org/en/fisheries/north-buru-and-maluku-fair-trade-fishing-associations-indonesian-handline-yellowfin-tuna/>

- パプアニューギニア漁業協会まき網漁業(カツオ・キハダマグロ) 2月26日本審査入り

<https://fisheries.msc.org/en/fisheries/png-fishing-industry-associations-purse-seine-skipjack-yellowfin-tuna-fishery/>

今回本審査入りした3つの漁業は、いずれも南太平洋での操業です。世界的なマーケットの需要の広がりに合わせて、カツオ・マグロ漁業でのMSC認証取得の動きが加速してきています。

新規審査入り漁業 新しい魚種で2漁業



2月後半に以下の2つの漁業がMSC漁業認証の本審査に入りました。シイラとバージニアガキがMSCの本審査に入るのはそれぞれ初めてのことです。



- エクアドル マヒマヒ(シイラ)延縄漁業

エクアドルのシイラ(*Coryphaena hippurus*)漁業が2月25日に本審査入りしました。審査の申請者は、エクアドルからシイラを輸出する複数の水産会社によるグループです。独立審査機関のBureau Veritas Certification 社によって審査がおこなわれます。

<https://fisheries.msc.org/en/fisheries/ecuador-mahi-mahi-coryphaena-hippurus-longline-fishery/>



Photo: NOAA

- プレステージ・オイスター社 テキサス州とルイジアナ州の牡蠣漁業

米国のプレステージ・オイスター社が、メキシコ湾で操業するバージニアガキ漁業(*Crassostrea virginica*)で2月26日に本審査入りしました。漁業は桁網です。独立審査機関のMRAG America社によって審査が行われます。

<https://fisheries.msc.org/en/fisheries/prestige-oyster-texas-and-louisiana-private-oyster-fishery>

その他

今日の魚のとり方は、
未来につながっている。



選ぼう。海のエコラベル



海のエコラベルがオランダで「最も持続可能な食品ラベル」に



2019年2月7日

MSCの海のエコラベルが、オランダで「最も持続可能な食品ラベルの1つ」として評価されました。

調査をおこなったのは、オランダ政府の農業・自然・食品品質省のための環境情報教育基金Milieu Centraalで、約100のエコラベルが調査対象になりました。MSCは、信頼性と透明性で満点の評価を受け、「top keurmerk」(最高のエコラベル)と評価されました。この称号を授与されたラベルは、たった10個でした。

今回は2016年に続く2回目の調査です。MSCのベネルクス地域プログラムディレクター、ハンス・ニーウェンヒース(Hans Nieuwenhuis)は、次のように述べています。「初回の調査に続き、MSCのラベルは優良であり、消費者が信頼できるものであることが確認されました。」

MSCは今後も、水産業界、NGO、科学者、そして政府を含む全てのステークホルダーの皆様の協力のもと、ラベルの信頼性を高める努力を続けていきます。

詳しくはニュースリリースをご覧ください。 <https://goo.gl/YQUhHP>

スーパーマーケットトレードショー2019とコープみらいフェスタにブース出展



2月13～15日 スーパーマーケットトレードショー2019 於:幕張メッセ

2016年より出店しているSMTS2019に、MSCは今年もブース出展をしました。今年も隣接ブースの丸水札幌中央水産(株)よりMSC認証の北海道産ホタテガイのサンプルをご提供いただき、試食配布を行いました。

また、マルハニチロ(株)の出展ブースでは、同社の扱う各種認証製品が展示されました。詳しくはMSC日本事務所ブログの公式ライター浅野陽子さんによるレポートをご覧ください。

<http://msc-japan.blog.jp/archives/78486894.html>



2月17日 コープみらいフェスタ きやっせ物産展2019 於:幕張メッセ

コープデリ連合会、コープみらい主催のこの展示会には今回初出展しました。日曜日の10時～15時30分という限られた時間ながら、約35,000人の来場者があり、MSCブースにも多くの方が立ち寄りました。MSCラベル付き製品の紹介と絡めたMSCに関わるお魚クイズに挑戦していただき、楽しみながらMSC認証について理解を深めていただきました。

詳しくはMSC日本事務所ブログをご覧ください。 <http://msc-japan.blog.jp/archives/78429350.html>

2019年度 MSC学生研究奨学金の募集を開始



2月26日

2019年のMSC学生研究奨学金の募集が始まりました。

2012年から始まったこの奨学金は、漁業管理や水産サプライチェーンなどの研究をする大学生・大学院生を対象としており、4,000英国ポンドを上限とする奨学金が給付されます。

ご興味がある方は、詳細はMSC本部ウェブサイトのこちらのページをご覧ください(英語のみ)。

www.msc.org/scholarship

締め切りは2019年4月7日です。



MSC 認証取得状況



【MSC認証】(2019年2月28日時点)

□ 漁業認証取得漁業数:

世界・・・362件 / 日本国内・・・4件

□ 漁業認証審査中漁業

世界・・・109件 / 日本国内・・・4件

□ CoC認証取得事業者数

世界・・・4,573件 / 日本国内・・・206件

□ MSCエコラベル付き製品数:

世界・・・36,000 品目 / 日本国内・・・727品目



@Philip van Ierschoot



このニュースレターに関する問い合わせ先
MSC(海洋管理協議会)日本事務所
広報担当: 牧野
Tel: 03-5623-2845
Email: MSCJapan@msc.org

@Marine Stewardship Council
